

市政と皆様を結び情報誌

神谷まさひろ活動報告

vol.65

発行:神谷まさひろ後援会事務所 〒448-0028刈谷市桜町3-45 TEL0566-23-0344 FAX 0566-23-1399

事務長/都築浩介 編集長/榊原直木

寒さも遠のき温かい春の陽気が増してきました。この号がお手元に届く頃には刈谷の街にも桜が 咲き、外出する機会も増えているのではないでしょうか。いよいよ4月から平成として最後の年度が スタートします。昭和51年生まれの私が青年期を過ごした平成時代を、今一度想い起こしながら 過ごしていきたいと思います。

刈谷市議会3月定例会 質問質疑



刈谷市議会3月定例会は2月15日(木)から3月23日(金)まで37日間の会期で開催をされました。初日には竹中市長による施政方針及び議案の大綱演説が行われた後、太田教育長による教育行政方針の演説が行われました。そして2月28日(水)から3日間に亘り質問質疑が行われ、私も次の2つのテーマで当局の考えを質しました。

2つのテーマ

- タウンミーティングでの 市民の声について
- 2 特別支援教育について

特にこのいては、会派のメンバーで開催した市政報告会(タウンミーティング)の際市民の皆様から戴いた声の中から、今回は「公園」に焦点を絞って5項目質問しました。このレポートではその中から「公園に健康遊具の設置を「といった内容について紹介します…

【現状】

洲原公園・岩ケ池公園・総合運動公園・小道公園・ 犬ケ坪公園・野田新町公園の6ヶ所の公園に健康 遊具を設置している。

【今後の予定】

平成30年度に井ケ谷町の茶屋川公園と平成31年度以降に小垣江町の伊勢山公園を整備するが、そこにも健康遊具を設置する予定である。

【私の提案】

地域住民によるワークショップを行って新しく整備された公園には全て健康遊具が設置されている。それはワークショップの中で「健康遊具を設置して欲しい」といった要望が出されたからであり、そうしたニーズは高いはずである。そこで、既存の公園にも健康遊具を設置して欲しい。

当局の考え

公園の利用状況や既存の公園施設の設置状況、地域間の配置バランスなどを考慮し、設置を検討してまいりたいと考えております。

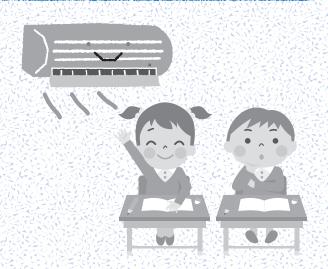
3月定例会

議案・予算案などからお知らせします!

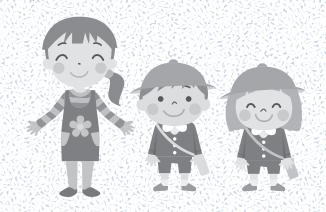
1 いよいよ小学校にもエアコンが設置されます

平成29年度には市内全ての中学校の教室にエアコンが設置されました。平成30年度はいよいよ小学校にも設置をします。授業の妨げにならないように夏休みと冬休みの期間を利用して工事を行いますので利用は3学期からということになると思います。事業費は15億円です(@@)

このように小中学校の全ての教室にエアコンが付いているのは、西三河9市の中ではみよし市と刈谷市だけです。



フ】[重原幼稚園→保育園に変更] そのための準備を行います



重原幼稚園が住吉幼稚園と合併して旧第1学校給 食センター跡地に移転することに伴い、跡地に新 たに民間保育園を整備することで、待機児童の解 消と保育環境の充実を図ります。

そのための準備として平成30年度は、重原幼稚園の東側敷地(約2700㎡)を造成してスロープを設置するとともに、プロポーザル方式により保育園を運営する民間事業者の選定を行います。

3 新たに刈谷市駅前市街地再開発事業が始まります

市街地再開発などによる都市基盤の 再生・整備により、景観にも配慮した快 適な都市空間を創出し、機能的で利便 性の高い拠点形成を目指します。

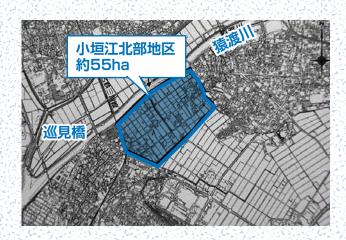
平成30年度は広小路など刈谷市駅周辺の約18haを対象とした[市街地総合再生基本計画]を作成するなどの予算として1000万円が計上されています。



4 小垣江町北部地区において住居系市街地の整備を推進します

刈谷市は近隣の自治体に比べて地価が高いため、マイホームを建設しようとするファミリー層が他市に転出してしまう傾向にあります。そのため街化調整区域を市街化区域に編入して、住宅用地を新たに創出する必要があります。

そこで、都市計画マスタープランの市街地整備方針に基づき、小垣江町北部地区約55haを住居系市街地として整備するための調査検討を行います。平成30年度は事業化に向けた業務として170万円が計上されています。



5 運行情報画面(モニター)を新たに設置します



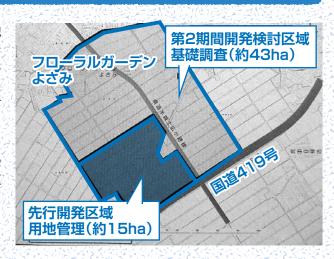
公共施設連絡バスの運行情報をリアルタイムに発信することで、バス利用者の利便性の向上を図ることを目的にこれまでに[刈谷駅北口][刈谷駅南口][刈谷豊田総合病院][ひまわり][刈谷ハイウェイオアシス][市役所]の停留所に運行情報モニターを設置して来ました。

平成30年度は新たに[野田新町駅北口]と[東刈谷駅北口]に設置をする予算710万円が計上されています。

依佐美地区の工業団地(昔の無線鉄塔跡地周辺です)の 事前申し込みが始まります

刈谷市では企業立地を推進するために依佐美地区に工業団地約58haを整備する計画があります。そのうちの先行開発区域約15haについては、いよいよ5月8日から愛知県企業庁による工業用地立地エントリーの受付が始まります。

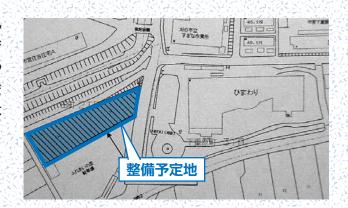
また、第2期開発検討区域の約43haについても 基礎調査が始まるということでそのための予算 が計上されました。



3月定例会

7 高齢者交流プラザ(ひまわり)の駐車場を増設します

ひまわりの西側、道路を挟んで現在も駐車場として整備されている場所の北側を拡張するのです。駐車台数は47台、土地は借地として、路盤や柵の工事なとで3000万円が計上されています。農地転用などの手続きの関係で、供用開始は今年の秋頃の予定です。



新生児聴覚検査の費用を 補助します

出生後に医療機関で実施する新生児聴覚検査に要する費用を補助します。全ての新生児を補助対象とすることで、聴覚障害の早期発見・早期療育につなげると共に、保護者の経済的負担を軽減するものです。905万2千円の予算が計上されています。

- (1)対象者→平成30年4月1日以降に 生まれた乳児
- (2)補助額→上限5000円 (受診券として交付)

虐待を受けている高齢者 などを緊急に一時保護します

特別養護老人ホームのショートステイ用のベット2床を借り上げ、緊急かつ一時的に保護の必

要な高齢者を 受け入れるも のです。

421万8千円 の予算が計上 されています。



10 スマートフォン向けの市公式アプリを開発し情報を配信します

アプリの概要としては、どなたでも無料で利用でき、各種の行政情報を必要なときに必要な方にプッシュ型で通知・配信するものです。 アプリから配信する情報及び機能としては、防災情報やスマートフォンに馴染みのある世代の方が必要とする子育て情報などのほか、位置情報を活用し、最寄りのバス停やKARIYA FREE Wi-Fiのアクセスポイントなどを検索できる機能を搭載する予定です。

新年度より開発に着手し、試験運用を経て、平成30年度内にはアプリの配信を開始する予定で、その後は観光情報やイベント・講座の情報のほか、魅力発信、福祉や健康づくりに関する情報など、コンテンツを充実させることにより、分野を問わず活用できると考えています。750万円の予算が計上されています。





小中学校での新たな取り組み



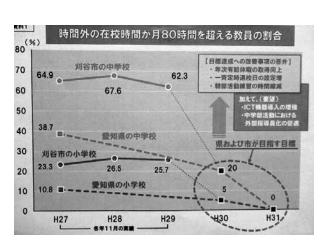
太田教育長による教育行政方針の中から新たな取り組みについて数点紹介します……

- ①小学校において平成32年度から3·4年生「外国語活動」、5·6年生で「外国語科」が本格実施されます。その準備段階として平成30年度は3·4年生で年間15時間、5·6年生で年間50時間外国語の授業を行います。
- 2小学校で「道徳科」の授業が始まります。
- 3朝の部活動は小学校においては廃止、中学校においては大幅に縮減します。
- 49月から小垣江東小学校において[放課後子ども教室]を開設します。 これで15小学校全てで実施することになります。

この内3について、その背景などについて3月定例会質問質疑の中からご説明いたします…

今回の質問質疑では多くの議員が「教員の働き方改革」といった内容の質問をされました。

小中学校の勤務時間外の在校時間が月80時間を超過している教員の割合について、刈谷市の小学校では平成27年度が23.3%、28年度が26.5%、29年度が25.7%。中学校では平成27年度が64.9%、28年度が67.6%、29年度が62.3%となっており、いずれも愛知県の数値、更には県及び市が示す目標値を大きくオーバーしています(グラフ参照)。その改善策としては…



1 年次有給休暇の取得向上 2 一斉定時退校日の設定増 3 朝部活動練習の時間縮減

といった答弁がありました。私も先生方の負担を軽減することには大賛成です。しかし一方で、私の元にはご父兄の方より「朝部活動練習の時間縮減は、(勤務時間を減らすという)先生側からの視点だけで、子どもの視点に立っていない」と言った声が寄せられています。

教育とは教室の中で学問をするだけでなく、上下関係や目標に向って頑張ることを学ぶ部活動も教育の一環ではないかと思います。そういった意味では、ほかの議員も要望されたように「現在活用している運動部の外部指導員だけでなく、文化部においても地域や教員OBなどの活用を積極的に進めて行き」→「先生の負担も軽減されて、部活動も復活」といった姿に持って行って欲しいと願っています。



介護保険=保険料基準額(月額) 4940円→5200円 5.3%アップします

「保険料の引き上げ」…「こういったものこそきちんと皆さんに説明をして、理解を得なければならない」と考えて、介護保険料算定のしくみを説明させていただきます。

介護保険がスタートした平成12年から17年の間に、65歳以上の人口は約2.0倍なっているのに対して、要介護認定者数は実に3.5倍にもなっているのです(図1、2参照)。そしてその伸びに連動して、介護給付費も17年で4.9倍になっています(図3参照)。(平成12年約15億円→平成29年約73億円)

介護保険制度は必要な給付費の内、原則10%を利用者が負担し、残り90%のうち約半分を保険料で賄うというルールになっています。ですから、これだけ増加した給付費を保険料の値上げという形で賄ってゆかなければならないのです。つまり介護保険は、給付が増えれば増えるほど保険料を値上げをせざるを得ないしくみなのです。

但し、そのことは必ずしも悪いことを意味しているわけではありません。給付が増えるということは「民間事業者の参入により、以前に比べサービス量が増えた」とか「特別養護老人ホーム等の施設が充実した」などといったことを意味している訳ですから。実際、この4月には定員120名の特別養護老人ホームが開所し、更に3年後にも新たな特別養護老人ホームの整備が計画されています。



電線類地中化工事

現在刈谷市内では3路線において電線類の地中化工事が行われています(愛知県事業を除く)。



刈谷駅北口パークホテル前の道路(刈谷駅北口←→相生町)240m 平成29年より始まり平成31年完成見込み



中央図書館前の道路(大手町 ← 住吉町)470m

平成28年度より始まり平成35年度完成見込み



秋葉神社前の道路(銀座←→新栄町)360m

平成26年より始まり平成33年完成見込み

このように介護保険は制度として値上げをせざるを得ないのです。これを最小限に抑える方法は、「介護予防施策の充実」「軽度の要支援・要介護者の進行抑制・防止のための適切な介護サービスの提供」といったことが考えられますので、この施策の充実をこれからも訴えて行きたいと思っています。

【 17年間で3.5倍にふくらむ要介護者数 】



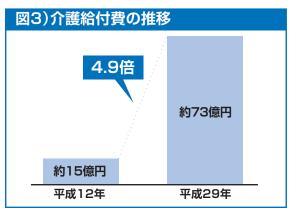
図2)要介護認定者数の推移 3.5倍 約4,600人 平成12年 平成29年

【平成12年】

市内の65歳以上の人口約15,000人 その内、要介護認定者約1,300人(約8.8%)

【平成29年】

市内の65歳以上の人口約30,000人 その内、要介護認定者約4,600人(約15.3%)



そしてこの度新たに「銀座の三菱UFJ銀行のある交差点から城町図書館方面への道路」について電線類地中化のための[電線共同溝詳細設計]予算が計上されました。

電線類が地中化されることにより「都市の景観が向上する」「歩道が広く使える」「災害時に電柱倒壊の恐れがない」などのメリットがあるので地中化を推進したいのですが、建設費が高いことと時間が掛かることがデメリットとしてあります。

中央図書館前の道路(刈谷環状線)において、平成28年度に施工した区域の場合1メートル当たりの建設費は約62万円でした。但し、国からの補助金があるのですが、その割合は50%~55%となっています。





神谷まさひろ後援会

初詣 [春日大社と橿原神宮]

1月23日(火)毎年恒例となった後援会初詣バスツアーを開催し、多くの皆様にご参加を頂きました。前日から心配していたお天気も、晴天とはゆきませんが雨や雪にそれほど降られる事もなく、参加して頂いた皆様と共に楽しい一日を過ごすことが出来ました。



私は昼食前のセレモニーと帰りのバスの中で次のように挨拶をさせて頂きました。



【昼食前】

今年の4月にいよいよ刈谷市立の特別支援学校が開校します。私が「刈谷市内に養護学校を建設して欲しい」と初めて一般質問で取り上げたのが平成12年のことですから、実に18年経ての実現です。政策実現のためには、どの議員が要望しているのかは肝心なことではなく、その施策が本当に刈谷市や刈谷市民のために「正しいこと」なのかどうか(=動機は善であるかどうか、そして私心がないかどうか)が大切で、そうした「正しいこと」を粘り強く要望・主張していればその政策は必ず実現するのだということを今回のことから感じています。

【バス】

昨年の初詣は、大河ドラマの直虎にちなんで浜松の龍潭寺を訪問しました。今年は西郷どんと言う

ことで鹿児島への初詣ツアーを企画したかったのですが、それは叶いませんのでせめて西郷隆盛の話題で最後を締めくくりたいと思います。





西郷隆盛が『こういう人物は手強い』と評価しているは『命もいらず、名もいらず、官位も金もいらぬ人』だそうです。そしてそういったことが政治に携わる人に必要な素質であり、こういった人でなければ『艱難をともにして国家の大業は成し得られぬなり』と述べています。

今日も多くの皆様がもっと上を目指すように励まして下さいました。けれど私は、皆様が期待するような役職はこれまでも、そしてこれからもないかもしれません。しかし(正直「命」は欲しいですが(笑))『名もいらず、官位も金もいらぬ』そのような姿勢でこれからも政治に携わり、市民の皆様から頂いた声を元に「正しいこと」を「粘り強く」要望して行きたいと思っています。 変わらぬご支援を宜しくお願い致します。

ホームページアドレス http://www.kamiya.gr.jp Eメールアドレス masahiro@kamiya.gr.jp